

第99期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

株式会社 オーバル

証券コード：7727

株主の皆様へ



代表取締役社長
谷本 淳

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第99期上半期における当企業グループの事業概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済およびわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、過去に例のない状況のもとで、経済活動が制限され、先行きは不透明となり大変厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当企業グループは、中期経営計画「ADVANCE 2.0-2021」の最終年度として「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を目指し、一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編および最適化にも取り組んでまいりました。また、当企業グループでは出張の制限や在宅勤務などを実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めつつ、受注の確保に向けた営業活動を行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間では、拡大戦略として無線ソリューションの提供などモノづくり環境のスマート化に貢献するソリューションを創出することや、異なる強みを持つ相乗効果により新たな市場への展開を図るため、セイコーインスツル株式会社と販売店契約を締結しました。また、セイコーインスツル株式会社製の無線センサーネットワーク「ミスター省エネ」に対応した無線流量計2機種（フローベット-5G、Eggs DELTA II）ならびに流量パルス入力ノードの販売を開始するなどにより、新規顧客の獲得や既存顧客への提案型の深耕営業に取り組んでまいりました。また、財務安定性を確保するため、不要不急の投資抑制によるコスト削減や運転資金の確保に取り組んでおります。

しかしながら、企業収益の減少を背景に国内外で設備投資を控える動きが強まり当企業グループも大きな影響を受けた結果、受注高は、5,107百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。また、売上高は、シンガポール・

中国・韓国の子会社の売上高が新型コロナウイルス感染症拡大の影響による石油関連プロジェクトの延期や中止、またロックダウンなどによる出荷の停止などで低迷し4,712百万円（同15.1%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少により、営業損失は193百万円（前年同四半期は営業利益160百万円）、経常損失は141百万円（前年同四半期は経常利益177百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は117百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益114百万円）となりました。

当社は、株主の皆様への利益還元を継続して行うことを経営の重要課題の一つとしております。配当につきましては、最も重視すべき株主の皆様に対する利益還元であると認識し、会社の経営基盤の確保と将来の事業展開に備えた財務体質の充実を総合的に勘案し決定することを基本方針としております。この基本方針を踏まえ、当期の中間配当金を一株につき3円とさせていただきます。

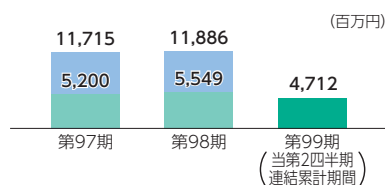
株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を頂き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

連結財務ハイライト

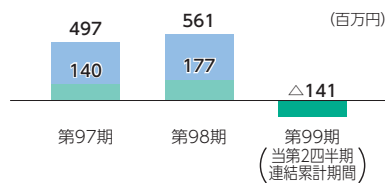
売上高
47億12百万円
(前年同期比15.1%減)

■通期 ■第2四半期連結累計期間
■当第2四半期連結累計期間



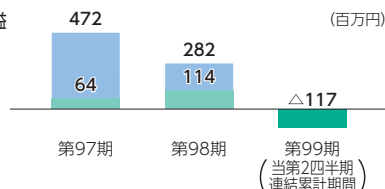
経常損益
△141百万円
(前年同期177百万円)

■通期 ■第2四半期連結累計期間
■当第2四半期連結累計期間



親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益
△117百万円
(前年同期114百万円)

■通期 ■第2四半期連結累計期間
■当第2四半期連結累計期間



総資産
219億51百万円
(前期比5.0%増)

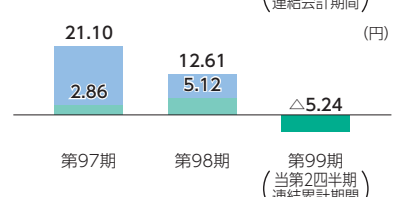
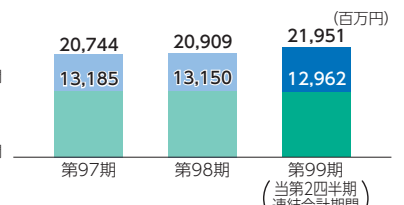
■期末 ■当第2四半期連結会計期間

純資産
129億62百万円
(前期比1.4%減)

■期末 ■当第2四半期連結会計期間

1株当たり四半期(当期)純損益
△5.24円
(前年同期5.12円)

■通期 ■第2四半期連結累計期間
■当第2四半期連結累計期間



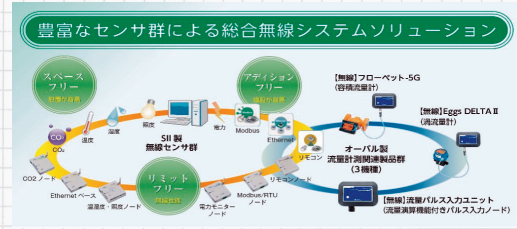
セイコーインスツル株式会社と販売店契約を締結

株式会社オーバルとセイコーインスツル株式会社は、2020年5月に販売店契約を締結しました。今後オーバルはセイコーインスツル株式会社の正規販売店として、同社の無線センサーネットワーク「ミスター省エネ」を活用した無線ソリューションを提供します。

「ミスター省エネ」は、昨今注目の920MHz帯を使った無線ネットワーク製品で、外部電源不要（内蔵電池で10年駆動）且つパラエティルに富んだ無線センサー群や拡張性の高さを強みとしており、多くのビル・商業施設などに導入されています。これにオーバルが長年培ったシステム開発技術・現場対応力が加わることで、付加価値の高い工業向け無線ソリューションの提供が期待されます。

昨今、工業分野においては「省エネ」・「省人化」・「安心安全」・「予兆保全」などのモノづくり環境の合理化をIoT技術によって実現する流

れが加速しており、多様な現場情報を手軽に収集できる無線ソリューションのニーズにオーバルは応えてまいります。



新製品紹介

①無線センサーネットワーク ミスター省エネ対応 フローペット-5G、Eggs DELTA II、流量パルス入力ノード

セイコーインスツル株式会社が提供する「ミスター省エネ」は、温度・湿度・電力等の無線センサー群をラインアップしており、多様な現場情報を手軽に一元収集できることを強みの一つとしています。この度、オーバルが開発した「ミスター省エネ対応流量計」が加わることで「流量情報」の収集も可能となり、更に活用の範囲が広がります。

■ 特長

- (1) 内蔵電池型無線流量計は1分間隔の通信で7年間の長期駆動。
- (2) 従来の2.4GHz無線（WiFi等）に比べ、通信距離は2～3倍、障害物の回り込み性質も高い。
- (3) 自己探索型中継機の使用により、通信範囲は手軽に拡大可能。



②高精度・汎用形容積流量計ULTRA OVAL Type S

「ULTRA OVAL Type S」は従来モデルに比べ、限界まで表示画面を大きくし、背景色をオレンジにするなど視認性を向上させ、一定時間操作をしない状態が続くと自動的に表示を消灯し、電池寿命を長持ちさせる省エネモードも搭載しています。「ULTRA OVAL Type S」は雨の日でも手袋をしたまま直接操作が可能となり、操作性が格段に向上しています。また、オーバル歯車の摩耗予知やセンサーの断線検知などの自己診断機能も搭載しました。従来モデルとは互換性がありますので、ご使用中の従来モデルのウルトラオーバルの計数部を筐体ごと更新頂くことも可能です。

■ 特長

- (1) 高精度：±0.5%RD（オプション：±0.2%RD）。ULTRA OVAL Type S
- (2) バーグラフ表示で瞬時流量も直感的に表現。
- (3) 単位表示が大きく見やすい。
- (4) 高感度タッチセンサを採用し、雨の日でも手袋で操作が可能。
- (5) 流量計本体部の経年劣化を推測し、メンテナンス時期をお知らせ。
- (6) センサーの断線を検知し、センサー故障をお知らせ。



会社概要／株式関連情報（2020年9月30日現在）

■ 会社の概要

商号	株式会社 オーバル（英文商号：OVAL Corporation）
代表者	谷本 淳
創業	1949年（昭和24年）5月10日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
資本金	22億円
事業内容	1. 工業用計測機器および関連機器の製造・販売 2. 計装および制御・管理装置の製造・販売 3. 工業用計測機器および装置に関するメンテナンス業務、流量計の検定業務
従業員数	678名（連結）
本社	〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号 Tel.03-3360-5009（経営企画室）
主要事業所	横浜事業所、東北、神奈川、中部、大阪、岡山、九州営業所
子会社	株式会社山梨オーバル、オーバルアシスタンス株式会社、株式会社山崎オーバル（以上国内）、HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.、HEFEI OVAL AUTOMATION CONTROL SYSTEM CO., LTD.（以上中国）、OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.（シンガポール）、OVAL TAIWAN CO., LTD.（台湾）、OVAL ENGINEERING INC.（韓国）、OVAL ENGINEERING SDN. BHD.（マレーシア）、OVAL Corporation of America（米国）

■ 取締役及び執行役員

代表取締役社長	谷本 淳	社外取締役 監査等委員	加瀬 豊
取締役 兼 専務執行役員	奥野 保	社外取締役 監査等委員	長野 和郎
取締役 兼 執行役員	池田 國高	執行役員	新國 誠治
取締役 兼 執行役員	浅沼 良夫	執行役員	小熊 仁
取締役 兼 執行役員	加藤 芳樹	執行役員	今井 信介
社外取締役 常勤監査等委員	池上 幸定	執行役員	市村 隆博

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel.0120-232-711（通話料無料）
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel.0120-232-711（通話料無料）
公告の方法	電子公告 URL https://www.oval.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

■ 株式の状況

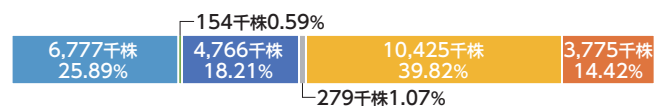
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	22,404,009株 （自己株式3,775,991株を除く）
株主数	4,964名
大株主の状況	

株主名	株式数（千株）	持株比率（%）
明治安田生命保険相互会社	1,900	8.5
東京計器株式会社	1,309	5.8
轟産業株式会社	1,091	4.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	978	4.4
株式会社三笠	811	3.6
日本生命保険相互会社	691	3.1
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	532	2.4
横河電機株式会社	512	2.3
損害保険ジャパン株式会社	422	1.9
株式会社日本カストディ銀行（信託口5）	381	1.7

（注）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株式の分布状況

■ 金融機関 ■ 証券会社 ■ その他国内法人 ■ 外国法人等
■ 個人・その他 ■ 自己株式



（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 オーバル

